

2022年度全国自動車会議所永年勤続者表彰式



4年ぶりに実開催 全国4会議所から8名が出席
内山田会長からこれまでの取り組みや貢献に感謝の言葉

日 本自動車会議所は3月10日、東京・港区の日本自動車会館「くるまプラザ」会議室で、全国の自動車会議所職員を対象とした「2022年度全国自動車会議所永年勤続者表彰式」を行いました。同表彰式は、全国の自動車会議所に勤務する職員のうち、推薦のあった永年勤続者（概ね勤続20年以上）を対象にしており、今年度で28回目を迎えました。コロナ禍により過去3回がリモート開催となりましたが、今回は全国4会議所から対象者8名全員が会場に足を運びました。

表彰式で挨拶に立った内山田竹志会長はまず、「今年度の永年勤続者表彰式は、2019年に開催して以来4年ぶりに実開催でき、皆さまにお会いして日頃の感謝と『おめでとう』を直接お伝えできることを大変嬉しく思います」と受彰者へ感謝の気持ちを伝え、次のように話しました。

「全国の各会議所は、地域の自動車業界の取りまとめ役として、数多くの大事な役割を担っておられます。20年近く長く勤められてきた皆さまは、『登録・検査』に関する業務や、『交通安全』や『環境』への取り組みなどの地道な活動とともに、時には知事や行政に対する要望活動などを通して、自動車業界の発展に多大な貢献を果たしてこられました。コロナ禍が続く中、日々の業務、特にお客さまと直接、接する業務をされており、大変ご苦勞されているものと思いますが、これまでのご尽力に心より感謝申し上げます」

続いて、内山田会長から表彰状が授与され、受彰



内山田会長（前列中央）を囲んで記念撮影

者を代表し杉山淳さん（神奈川県自動車会議所）が、「このたびは、永年勤続表彰を賜り誠にありがとうございます。また、内山田会長よりお祝いの言葉を賜り受彰者一同喜びもひとしおです。私どもは、これを一つの節目として、また新たな気持ちで業務に励んでいきたいと思えます。今後とも温かいご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます」と謝辞を述べました。

杉山さんはさらに、「昨今の自動車業界は100年に一度の大変革期と言われ、ガソリンから電気自動車へのシフトや、自動運転の実用化、さらには空飛ぶ自動車など、私が子どもの頃に読んだ未来漫画の風景がまさに実現しようとしています。私たちの業務においても、図柄ナンバーの新設やICチップ内蔵の電子車検証への対応など日々変化に追われる毎日ですが、何事もポジティブにとらえ、職員同士連携を取りながら遂行していきたいと思えます」と話し、謝辞を締めくくりました。

最後に、来賓として参加した各会議所代表者も交えて記念撮影を行い、表彰式は終了しました。この

後、東京・港区海岸の日の出ふ頭に移動し、クルーズ船「シンフォニー」で東京湾をクルーズしながら懇親会を開催し、なごやかな懇親の輪が広がりました。

◇2022年度の表彰者は次の通り。順不同。

- ・佐藤 友康さん（福島県自動車会議所）
- ・杉山 淳さん（神奈川県自動車会議所）

- ・信澤 淳一さん（神奈川県自動車会議所）
- ・齋藤 愛美さん（神奈川県自動車会議所）
- ・花田 靖子さん（静岡県自動車会議所）
- ・滝浪 朋美さん（静岡県自動車会議所）
- ・宮村 梨江さん（愛知県自動車会議所）
- ・伊奈 郁恵さん（愛知県自動車会議所）

挨拶をする内山田会長



表彰者を代表し謝辞を述べる神奈川県自動車会議所の杉山淳さん（右）

出席者全員が記念撮影



クルーズ船「シンフォニー」の前で



静岡県自動車会議所の山下専務理事のご挨拶で和やかな懇親会が終宴

警視庁交通企画課の尾野課長補佐が「令和4年における交通事故の主な特徴等」について説明

第2回道路・交通委員会開催

事務局から「交通安全。アクション2023」の概要説明

日本自動車会議所は3月30日、東京・港区の日本自動車会館「くるまプラザ」会議室で、2022年度第2回道路・交通委員会（委員長＝梶野龍二・全日本トラック協会理事長）を開催しました。委員会は会場とリモートのハイブリッド形式で開催され、梶野委員長が会場で議事進行を務めました。委員会ではまず、警視庁交通局交通企画課の尾野裕一郎課長補佐が「令和4年における交通事故の主な特徴等について」をテーマに講演し、昨年の交通事故の状況や特徴などを説明しました。その後、4月初めに開催される「交通安全。アクション2023」の概要を事務局が説明し、委員団体の協力に感謝の意を伝えて委



員会は終了しました。

（委員会の概要については次号で紹介）